

はじめに

「世界各国の人とコミュニケーションを取りたい」「自分にそっくりのアバターを作してほしい」「ゲームの対戦相手や仲間になってほしい」。そんな願いを、まるで魔法のようにかなえてくれるコンピュータが増えてきています。

そんなふうにコンピュータを動かす技術を、「AI（人工知能）※」といいます。世界中の研究者や開発者の手によって、AIは日を追うごとにより速く、より正確に、より賢くふるまえるようになってきています。活躍の場も、学校、会社、病院、レストラン、家庭など、ぐんぐん広がってきています。すでに、みなさんのすぐとなりにもいるはずですよ。

AIにも長所や短所があります。解決したい問題や目的に合わせて、どこでAIを使うか考える必要があります。たとえば、問題によっては「AIを使わない」ことが、最も良い解決方法である場合もあります。あるいは、

「問題を解決できるAIがまだこの世に存在していない」
こともあります。その場合、あなたがそのAIを「開発
する人」になる可能性もあるのです。

この本では、駄菓子屋「みやこ」で起こるさまざまな
事件に、セイ、メイ、ヒロが挑戦します。AIもいっしょ
です。やがて三人は、進化するAIと力を合わせて、「み
やこ」の応援をはじめます。

三人は何をするのか？ 駄菓子屋「みやこ」はどう
なってゆくのか？ 物語を楽しみながら、AIが活躍す
る世界を体験してみませんか。

この本との出会いが、今世界中で開発が進められてい
るAIという魅力的なアイテムに興味をもつきっかけに
なること、さらにいつかあなたが問題に遭遇したとき、
その問題を解決する力につながることを願っています。

2023年6月 ソニー・グローバルエデュケーション

※AI（人工知能）は、コンピュータが人間のような知的なふるまいをする
技術を指します。この技術は、ディープラーニングや機械学習といった
特定の技術にしぼって考えられることもありますが、この本ではより広
い範囲をAIとして紹介しています。

はじめに _____ 4

どうしようじんぶつしょうかい
登場人物紹介 _____ 8

プロローグ 駄菓子屋「みやこ」、大ピンチ！ _____ 9

第1章 駄菓子屋「みやこ」のピンチを救え！

～AIってなんだろう？～

1 タルタマくんがやってきた！ _____ 18

2 駄菓子屋「みやこ」のピンチ①
～お菓子が消える!?～ _____ 21

3 駄菓子屋「みやこ」のピンチ②
～ピーちゃんの勘が外れる!?～ _____ 39

第2章 駄菓子屋「みやこ」をチームで応援！


～AIができること～

1 結成！ チーム「みやこ」 _____ 62

2 応援① オリジナルクジを作ろう！ _____ 66

3 応援② オリジナルカードを作ろう！ _____ 74

4 応援③ つめ合わせ作りを手伝おう！ _____ 87

 考えてみよう～人間並みの知能って？～ _____ 95



だい しょう エーアイ
第3章 AI ロボット・イクタマくん
～ エーアイ しんか
～ AI は進化する～

- 1 だ が し や 駄菓子屋「みやこ」は おおいそが 大忙し! ————— 98
- 2 てつだ お手伝いロボットがほしい! ————— 102
- 3 タルタマくん⇒イクタマくん!? ————— 107
- 4 イクタマくん、しどう 始動! ————— 112
- 5 イクタマくん、だいかつやく 大活躍! ————— 119
- 6 がんばれ! イクタマくん ————— 123
- 7 イクタマくんは しんか 進化する ————— 128

だい しょう エーアイ みらい つく
第4章 AI といっしょの未来を創ろう
～ エーアイ みらい い
～ AI といっしょの未来を生きるために～

- 1 だ が し や 駄菓子屋「みやこ」50周年 しゅうねんかんしゃさい 感謝祭 ————— 138
- 2 おばさんは エーアイ はかせ AI 博士!? ————— 143
- 3 ぼくたちが きづいたこと ————— 147
- ドクター・タカコの エーアイ とくべつこうざ AI 特別講座 ————— 153

エピローグ みらい む 未来に向かって ————— 157





セイ



メイ



ヒロ



ぴーちゃん



タカコ



タルタマくん



セイ

しょうがく ねんせい たお あこが 小学6年生。`あやかし、を倒すヒーローに憧れている。

セイのふたごの妹。モノづくりが得意なしっかり者。



メイ



ヒロ

せいとめいのあひなじみ。AI やプログラミングに興味がある。

ヒロのひいおばあちゃん。駄菓子屋「みやこ」の店主。



ぴーちゃん



タカコ

せいとめいのおば。AI の研究をしている。

せいとめいにタカコから送られた AI。



タルタマくん

「メイ、ヒロ、帰るぞ」

ねん くみ きょうしつ こえ はし
6年2組の教室に声をかけるなり、セイは走り

だしました。

きょう じゅく はや
(今日は塾もスイミングスクールもない。早く

かえ
帰ってゲームをするんだ！)

いま ふ し ぎ ちから おんみょう じ
セイは今、不思議な力をもつ陰陽師が「あやか

し、をたおすゲームに夢中です。

「ちょっと待って、セイ！ ヒロくんの様子がヘンよ！」

こうもん で よ
校門を出たところで呼びとめられました。ふた

ごの妹のメイです。

かえ いき
ふり返ると、ヒロが「はあ」とため息をついた

ところでした。

セイとメイとヒロは、ようちえん おさな
幼稚園のころからの幼な

ねんせい くみ
じみです。6年生になって、セイは1組、メイと

ヒロは2組とクラスが分かれてしまいましたが、

学校の外ではいつもいっしょです。

「どうしたヒロ、何かあったのか？」

「実は、ピーちゃんが心配で……」

「ピーちゃん」というのは、ヒロのひいおばあちゃんのニックネームです。

「ピーちゃんって、駄菓子屋『みやこ』のピーちゃんか？」

ヒロのひいおばあちゃんは、平安町の商店街で小さな駄菓子屋を営んでいます。

「うん」と、ヒロはうなずきました。



「先週行ったときは元気そうだったけどなあ」

「いつもと同じようにニコニコしてたよね？」

「急に体調をくずしたとか？」

「ピーちゃん、けっこう歳だもんね」

セイとメイが話していると、「ちがうんだ！」

と、ヒロがあわてて首をふりました。

「そうじゃないんだ。実は今、駄菓子屋『みやこ』が大ピンチなんだ」

「大ピンチ？」

「ピーちゃんが言うには、最近、おかしなことが次々と起こってるんだって」

「おかしなこと……か」

セイは目を閉じると、眉間に人さし指をあてました。

お気に入りのゲームの主人公が、考えをめぐらすときのポーズです。

「なあ、ヒロ。それって『あやかし』のしわざ

じゃないか？」

「あやかし、？」

「そうだ。ピーちゃんは駄菓子屋『みやこ』をも
う何十年もやっている。なのに、ここにきて急に
トラブルが次々と起こるなんて、おかしくない
か？ あやかし、のしわざに決まってるよ！」

セイに決めつけられて、ヒロは顔をくもらせま
した。

「だったら、どうしたらいいの？ ピーちゃん、
どうなるの？」

「心配するな、ヒロ。おれがなんとかしてやる。」

「あやかし、を倒してやる」

「頼むよ、セイくん」

「まかせろ！」

セイが力強くうなずいた瞬間、

「ちょっと待って！」と、メイが声を上げました。

「セイもヒロくんも、落ちついて。あやかし、



なんて、いるわけないから。トラブルには、^{なに}何か
^{げんいん}原因があるはずだから」

「じゃあ、どうしたらいいの？ メイちゃん、お
^{ねが}願い、^{なん}何とかして！」

ヒロが^て手を^あ合わせます。ヒロは^{だい}ぴーちゃんが^{だい}大
^す好きなのです。

メイは「そうだなあ」とつぶやきました。

「だれかおとなに……。そうだ、おばさんに^{そうだん}相談
してみようか？」

おばさんはセイとメイのお父さんの妹で、今は外国で暮らしています。

お父さんが「あいつは変わりものだから」と言うように、家族の中ではういていて、今は「外国で何かの研究をしているらしい」ぐらいしかわかりません。

そんなおばさんですが、セイとメイのことはかわいがっていて、よくメッセージを送ってくれます。そしてそのメッセージの最後にはいつも「困ったことがあったらなんでも相談して」と書いてあるのです。

「よし、おばさんに相談してみよう！」

うなずくと、セイはタブレットでメッセージを送りました。

♪ピーッ、ポポン！

へんじ返事は、すぐに届きました。

『駄菓子屋「みやこ」には、あたしもお世話になったから、もちろん協力するよ。さっそく、タルタマくんを送るね』

「タルタマ……くん？」

メイとセイが顔を見合わせていると、

♪ピーッ、ポポン！

また新しいメッセージが届きました。

『タルタマくんの使い方は、チャットで教えるから↓ここをクリックして』

セイがクリックすると……

♪ピーッ、ポポン！

《ようこそ、セイ、メイ！》

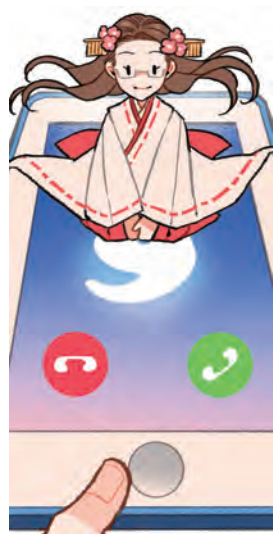
声とともに、古風な衣装

に身を包んだ女の人の立体

的な映像が現れました。お

ばさんがいつも自分の分身

として使っているアバター



です。

衣装は神社の巫女さんのようにも、ゲームに出てくる陰陽師のようにも見えます。

《チャットの準備はこれでOK。AIのタルタマくんがそっちに着いたら、チャットを立ちあげて、話しかけて。……あ、AIというのは『人工知能』という意味よ。ってことで、タルタマくんをよろしくね》

そう言うと、♪シュルンと音がして、おばさんのアバターは消えました。

「AIのタルタマくん……って、何だろう？」

三人は顔を見合わせて首をかしげました。

AIとは？

コンピュータがデータを分析し、推論、判断、学習などをおこなう、人間の知能をまねた技術のこと。人工知能とも呼ばれる。

だい しょう
第 1 章

だ が し や すく
駄菓子屋「みやこ」のピンチを救え！

エーアイ
～ AI ってなんだろう？～

